



地域・社会とともに

日本ユニシスグループは、IT企業としての特徴を活かし、地域・社会の豊かで健全な発展に寄与したいと考えています。

高校生を対象としたキャリア教育

民間企業ならではの研修プログラムを通じて、高校生の将来的なキャリアイメージ形成に貢献しています。

高校生向け「将来体験プログラム」の提供

日本ユニシス・ラーニングでは、高校生のキャリア教育の一環として、職業観を形成するための「将来体験プログラム」を提供しています。プログラムの構成にあたっては、企業経営を体験しながら、将来のイメージを描けるような内容を重視しています。

研修カリキュラム (対象: 高校3年生 / 研修期間: 2日間)

1) ビジネス体験

(オリジナル教材であるPAC「Paper Cup Creating Company」を活用)

- 企業シミュレーションゲーム①「会社を設立しよう」
- 企業シミュレーションゲーム②「紙コップを作ろう」

損益計算書 (P/L)	
会社名	内訳
1 売上高	(売上総額)
2 材料費 (変動費)	(製造原価)
3 設備、工具費 (固定費)	(固定費)
4 労務費 (固定費)	(固定費)
5 売上原価	(2+3+4)
6 売上総利益	(1-5)
7 販売費、一般管理費	

損益計算書の実習



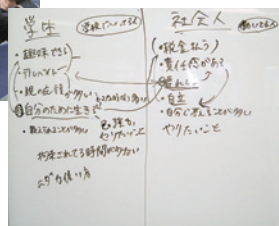
紙コップ製造会社の経営を疑似体験

2) キャリアデザインの確立

- オリエンテーションとグループディスカッション
テーマ: 「社会人とは」、「学生と社会人の違いとは何か」
- キャリアイメージの形成と「22歳の自分」への手紙作成



グループディスカッション



発表: 学生と社会人の違いとは



研修受講生の声

- 企業シミュレーションゲームで「1+1」が「3」にも「4」「5」…にもなる喜びと達成感を味わいました。物を作ることの重みや企業にはたくさんの思いが詰まっていることを実感しました。
- 将来に活かせることを効率良く、たくさん教えていただきました。
- 新たな視点による発見の連続で、大切な「気づき」も得られました。
- キャリアデザインでは、自分でわかっていてもどこかで否定していたことを指摘されてドキッとしましたが、自分を見つめ直す良いきっかけとなりました。



VOICE 日本ユニシス・ラーニングから

高校生向け教育プログラムを通して

近年、フリーター、ニートの増加が大きな社会問題となっているなか、本プログラムは、高校生向けキャリア教育に協力するため、企画・開発したものです。2日間のカリキュラムでは、ラッシュアワーの時間帯に会社へ「入社」することから始まり、紙コップ製造会社の経営をグループワークにより進めるなど、企業活動を疑似体験していただけます。また、自己分析と近未来のキャリアをイメージ化する作業に取り組むことを通じて、さまざまな気づきを得ていただく内容となっています。

これまでの4年間で200名近くの高校生が本プログラムを受講しており、先進的なキャリア教育としてさまざまな教育機関からお問い合わせをいただいています。日本ユニシス・ラーニングでは、若年層の職業観を形成する本プログラムの提供を通して、これからも社会に貢献していきたいと思っております。



日本ユニシス・ラーニング
代表取締役社長
竹田 裕彦